

令和3年7月29日

鹿児島県中小企業団体中央会
会長 小正 芳史 様

鹿児島県PTA連合会
会長 太田 敬介



鹿児島県連合校長協会
会長 前田 光久



令和4年3月高等学校等卒業予定者の県内就職促進について（お願い）

平素より高等学校等卒業予定者の就職につきましてはご高配を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、鹿児島労働局から発表されました令和3年3月卒業生の就職状況によりますと、県内高校生の就職内定率は99.4%と引き続き高水準で推移しており、県内就職割合は56.8%と対前年同月比で2年連続増加しております。関係各位のご尽力に心から感謝申し上げます。

政府の6月の月例経済報告では、「景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部で弱さが増している。」とされました。コロナワクチンの接種も進んでいるが、感染拡大状況は一進一退であり、引き続き就職活動・採用活動に影響を与え、雇用情勢も弱さが増す恐れがあり、今後の先行きについては依然として不透明であります。

高校生は、それぞれの夢や目標の実現に向かって、知識・技能の習得に日々励んでいます。すべての高校生が正規の雇用で希望する職種に就き、培ってきた能力を存分に発揮することで、地域の活性化と郷土鹿児島の発展が図られます。

県PTA連合会においても、学校と連携して、高校生活の中で将来の社会生活・職業生活に必要な資質を身に付けることができるよう、望ましい職業観や勤労観の育成、基本的な生活習慣や社会性・規範意識の確立などに取り組んでいるところです。

つきましては、障がいのある生徒も含め、郷土鹿児島の未来を担う前途ある新規卒業予定者が1人でも多く採用されますよう、また、新たな氷河期世代を生じさせることのないように、採用枠の確保やきめ細かな情報提供、早期選考の実施、雇用環境の改善などに一層取り組んでくださいますようお願い申し上げます。